



学校だより
**桜っ子
通信**

自ら学び
自ら考え
自ら行う

令和3年11月19日 第24号
長崎市立桜町小学校長 野中正樹

いよいよ 明後日は 桜っ子くんち！

11月21日（日）桜っ子くんちを開催いたします。本校の伝統的な行事である桜っ子くんちも、今年で20回目の開催となります。子どもたちは、限られた時間でしたが、それぞれの催しもの（だしもの）の稽古に集中して取り組むことができました。これもひとえに、地域の皆様に熱心に御指導いただいた賜です。心から感謝申し上げます。当日は、桜っ子の晴れ姿を御覧いただき、盛大な「もってこーい」をかけていただければ幸いです。

なお、既にお知らせの通り、本年度の桜っ子くんちは、新型コロナウイルス感染症対策として、2学年ずつの3部構成での開催となります。また、参加人数の制限等も設けておりますので、以下の留意事項を御確認いただき、御理解と御協力をお願い申し上げます。

令和3年度 第20回 桜っ子くんち

【日時】	令和3年11月21日（日） 8:45~12:15
【場所】	桜町小学校 体育館
【内容】	第1部（8:45~9:45） 御神輿（4年生） 川 船（3年生） 第2部（10:00~11:00） 唐人船（2年生） 龍 踊（5年生） 第3部（11:15~12:15） 本踊り（1年生） 太鼓山（6年生）
【留意点】	○参観者については、各家庭、乳幼児を含め2名を厳守願います。 ○受付は、ピロティにて、各部の開始15分前から行います。 ○配付している入場整理券に必要事項を記入し、御持参ください。 ○お子さんが出場される部のみでの参観となります。（入れ替え制） ○退場の際は、3階廊下を通り、西階段を下って、西玄関から出てください。 ○マスクの着用と手指消毒に御協力ください。 ○スリッパ等と靴を入れる袋を御持参ください。

まちづくりアイデアコンテスト

長崎市は、これからのまちづくりを担っていく子どもたちに、自分たちもまちづくりの主役であるという意識（当事者意識）を育て、地域や社会をよくするために何をすべきか考え、積極的に社会に参画しようとする態度を育てることを目的に、「小学生によるまちづくりアイデアコンテスト」を開催しました。本校の6年生もこのコンテストに応募し、審査の結果、優秀賞に〇〇〇〇さんの作品が、佳作に〇〇〇〇さん、〇〇〇〇〇さんの作品が選出されました。

10月30日（土）に、長崎市立図書館にて、優秀賞に選ばれた20名による、まちづくりアイデアコンテスト発表会と表彰式が開催され、田上市長さんや教育委員の皆さんの前で発表しました。どの発表も、もっと多くの人に長崎市の良さや歴史を知ってもらいたい、長崎市がもっと住みやすい町になってほしいという思いに溢れていました。

〇〇さんの「長崎移住キャンペーン」も首都圏の人達に長崎市の歴史や良さを知ってもらい、長崎市に移住してもらうためのアイデアが詰まった内容でした。実は、これまでのコンテストにて提案されたアイデアが採用され、実現した事業もあります。〇〇さんをはじめ、今回発表した小学生のアイデアが実現することもあるかもしれませんね。

なお、今回のアイデアコンテストで優秀賞及び佳作に選ばれた作品は、令和4年1月6日（木）から1月12日（水）の期間、浜屋ステッパギャラリーにて展示されます。お近くにお立ち寄りの際は、御覧いただければと思います。

11月は児童虐待防止推進月間です

言うまでもなく、児童虐待は絶対にあってはなりません。今年に入ってから児童相談所への相談件数が既に20万件を超えており、非常に憂慮すべき社会問題と言えます。裏面に児童虐待防止推進に係る、文部科学大臣のメッセージを載せておりますので、御一読いただきますようお願い申し上げます。

11月は見学虐待防止推進月間です。

子供たちへの虐待は、児童相談所の相談対応件数（速報値）が初めて20万件を超えるなど、極めて深刻な状況です。新型コロナウイルス感染症の影響による生活不安やストレス等に伴い、児童虐待のリスクが一層高まっています。児童虐待により子供たちが傷つき、亡くなるようなことは、何としても無くさなければなりません。

虐待は、殴る、蹴るといった身体的虐待だけではなく、言葉で脅す、無視するなどの心理的虐待、家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にするなどのネグレクトや性的虐待もあります。いずれも子供たちの心身に深い傷を残します。

保護者の皆さま、大切なお子さまの健やかな成長のため、「虐待はしない」と誓ってください。心に余裕がない時はストレスの解消など、皆さま自身が休むことも大切です。子育てに不安や悩みがある時には、身近な人に相談したり、自治体の相談窓口等を頼ったりしてください。

学校関係者の皆さま、日頃から子供たちと接する中で、児童虐待と疑われる事案に気付いた際は、速やかにチームとして対応し、市町村や児童相談所に通告するとともに、関係機関と連携して対応してください。

地域の皆さま、是非、子供や保護者の様子に関心を持って見守ってください。不自然な傷のある子供や子供の養育に無関心な保護者など、虐待が疑われるサインに気付いた際は、最寄りの児童相談所に繋がる全国共通ダイヤル「189」（“いちはやく”）に相談・通告してください。

児童虐待の防止には、家庭・学校・地域が一丸となって子供たちを見守り、育てることが重要です。文部科学省としても、関係省庁とともに取組を推進してまいります。皆さまの御理解と御協力を心からお願い申し上げます。

令和3年11月
文部科学大臣

末松信介